

業種・食品種類	農産加工	売上規模	10～30億円未満
効率化工程	梱包・運搬		
効率化	機械・ロボット		

農産加工品・菓子製造業	新潟県
-------------	-----

汎用化が難しいラベル貼り付け工程に機械を導入。作業人数の固定化、人件費の削減に効果

■ 従業員の状況

従業員数		従業員の部門別構成比		
正社員・契約社員	パート・アルバイト	製造部門	間接部門	その他
90名	110名	30.0%	30.0%	40.0%

■ 生産関連の状況

生産量／稼働時間	生産量	工場稼働時間
	非公表	8時間／日

コスト構造 構成比	原材料費	人件費	減価償却費	その他
	70%	約20%	約2～3%	7～8%

製造工程における 設備・機械対応比率	製造工程 [原材料投入から製品完成まで]		設備・機械対応比率
		うち、設備・機械対応	
	6～7	5	約70.0%

設備・機械担当人数	設備・機械担当者計 [メンテを含む]	設備・機械メンテ 担当者	機械・設備導入・ 整備選任	その他
				担当 -
現状	1.5 人	1.5 人	1.5 人	- 人
5年前	1.5 人	1.5 人	1.5 人	- 人

！生産性向上におけるPoint

- ✓ コスト削減と作業の効率化を目的に、ラベル貼り付け工程を自動化。人員作業の平準化により大量受注、製造量の季節変動に対応しながら、人件費削減を実現

大量受注を機にラベル貼り付け機を導入。自動化による人員・作業時間削減により人件費の削減に効果

同社は、もち、おはぎ、大福などの和菓子を主力商品としており、特に大福は、餡をもち生地で包み、冷凍・冷蔵処理後に冷蔵状態で出荷している。製造工程はほぼ機械化されているが、ラベル貼り付けや箱詰めといった後工程は人手で行われている。ラベルの種類が多様で汎用的な機械での対応が難しく、個別製品に合わせて作業を行うため、後工程には7～8人の人員が従事しており、繁忙期には応援が必要となっている。

同社では、PB商品の大量受注に対応し短納期で製品を供給するとともに、コスト削減と作業の効率化を目的に、ラベル貼り付け工程の自動化を推進するため、2024年4月に専用機械を導入した。

ラベル貼り付け工程の自動化により、製造効率が大幅に向上した。ピーク時には最大5名の人員と他部署からの応援が必要であったが、機械の導入により、常時2名程度の人員で対応できるようになり、人員配置の柔軟性が大幅に向上した。

また、作業時間も従来の4～5時間から2～3時間に短縮され、大幅な時間短縮を実現した。特に、需要が集中する彼岸などにおいて、人員配置や生産計画の策定が容易になり、安定した製造体制を構築することが可能となり、また、人件費の削減にも寄与している。